



公益社団法人

日本語教育学会

2023 年度第 4 回支部集会【関西支部】 開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2024 年 3 月 16 日(土)12:30-17:30

実施方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

参加者：53 名（会員 45 名、一般 8 名）

2023 年度第 4 回支部集会【関西支部】を行いました。本集会は、口頭発表 4 件、交流ひろば 1 件、講演・パネルディスカッションと盛り沢山の内容で、12 時半から 17 時半にわたる長時間の開催となりました。オンライン開催であったこともあり、関西地域に限らず各地からご参加くださいました。また、それぞれの興味・関心にあわせて Zoom ミーティングに出入りなさる方が多く見受けられましたが、常時 30 名を超える方々にご参加いただきました。

集会の開始直前に、支部集会の事前連絡が一部の参加者に届いていないというトラブルがあったことがわかりました。そのため、口頭発表のビデオ・予稿集を事前にご覧いただけていない参加者への配慮が必要との判断から、発表要旨を冒頭でご説明いただいた後に、質疑応答に移るという流れに変更いたしました。口頭発表 4 件のうち、事前質問のあった 2 件については急遽冒頭での要旨説明をお願いしましたが、快くご対応くださいました。おかげで、事前質問以外にもフロアから質問・意見があり、研究内容に対する理解を深めたり、今後の研究の進展につながったりするような質疑応答を行うことができました。

交流ひろばでは、外国人看護師のための日本人看護師とのコミュニケーション研修に関する実践の内容を共有していただき、フロアの参加者とともに、よりよい研修に向けた意見交換が行われました。集会後のアンケートに見られた「発言しやすい雰囲気だった」とのご意見のように、ご専門ではない参加者からも意見や質問が出るなど、様々な角度からコミュニケーション研修の目標やそのあり方について考える場となりました。

講演・パネルディスカッションは、令和 6 年 4 月 1 日から「日本語教育の適切かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」が施行されることを受け、登録実践研修をテーマにしました。まず、文化庁国語課の増田麻美子氏が「登録実践研修機関の登録について」というタイトルでご講演くださいました。その後、教育実習の送り先である大学について、茨城キリスト教大学の中山健一氏、自学で養成した実習生を、自学の日本語教育機関で実習させる清風情報工科学院の土屋理恵氏、教育実習の受け手である南大阪国際語学学校の戸川朝子氏が、それぞれの立場から現状と今後の課題を共有してくださいました。新しい制度の中で、送り出し側も、受け手側も互恵的で、かつ若い人材に日本語教育界に参入してもらえるような実践研修が行われていくには、各機関の目指すところや特色などの丁寧な説明・理解が不可欠だと感じました。

開催後のアンケートでは、概ね好評を得た一方、対面での開催を求める声も見られました。オンライン開催であるからこそ、遠隔地の方の参加のハードルが下がり、登壇者にも全国各地からお集まりいただきやすくなる一方、対面ならではの交流・発言のしやすさというものもあると考えます。次回の内容に応じて、対面での開催も検討したいと思えます。

発表者の皆様、参加者の皆様、ならびに支部集会開催にご協力下さった皆様に感謝申し上げます。

（報告者：支部活動委員 内田さつき、藪崎淳子）